

# My Favorite Book 2015

小松高校の先生方からのお薦めの一冊

紹介図書	著者（編者）	コメント	出版社	単行本 新書 文庫
高校生のための論理思考トレーニング	横山 雅彦	日本人のコミュニケーションと西洋人のコミュニケーションの取り方（論理思考）の違いを筆者の経験談を織り交ぜながら、分かりやすく解説してあります。そして、どのようにして、論理思考ができるようになるかトレーニング方法が紹介されています。ディベートをする上での基礎知識・技術が身につけられます。	ちくま新書	新書
応援する力	松岡 修造	ご存じ「日本を熱くする男」松岡修造自身の体験と多くのトップアスリートとのコミュニケーションから見てきた「応援力」。人はいつも誰かを応援し、誰かに応援されています。部員・友達・家族など応援してくれる人の力を感じてほしい。最終的には自分で自分を応援することで、「自分自身を信じきる」強さを持つことができるのかもしれない。勉強も部活も頑張る松高生に、ぜひ。	朝日新書	新書
短歌をよむ	俵 万智	古文で和歌に苦手意識を持っている人も、この本を読むと何となく短歌が身近なものに思えるはずです。同著者の有名な歌集『サラダ記念日』とセットで読むとさらにおもしろい！彼女が7月6日をサラダ記念日にした背景とは？……気になりますか？	岩波新書	新書
世界は宗教で動いている	橋爪 大三郎	国際情勢の動きを読み解く最大の鍵は宗教である。民族に深く根ざした思考方法は宗教に凝縮されており、宗教を知ることとはグローバル化した世界で生きていく上で必要不可欠である。イスラム国や尖閣の問題も、なぜこうなるのか解けますよ。	光文社	新書
脳と気持ちの整理術	築山 節	やる気が出ないときはどうしたらいい？ 仕事をため込まないようにするには？ いいアイデアを生み出すためには？ 勉強にも仕事にも役立つヒントがいっぱいあります。	NHK出版	新書
俺の日本史	小谷野 敦	歴史を題材とした小説やドラマがたくさんあります。この土台には様々な歴史の解釈や歴史観というものがあり、その解釈や価値観によって歴史の見方は大きく異なります。歴史的事実を丁寧に追究し、新たな歴史の見方や面白さに気づかせてくれる一冊です。	新潮新書	新書
すばらしい数学者たち	矢野 健太郎	この本を読んで、少しでも数学に興味を持ってくだらうれしいです。	新潮社	新書
左手一本のシュート	島沢 優子	涙なくしては読み切れません。人が持つ「夢」や「こうなりたいという思い」は、不可能なことも可能にする。人生のなかで、苦しいときもきつと勇気をもらえる、そして本気で頑張れば周囲の人が支えてくれる、そんな思いを持てる本です。	小学館	新書
ウイスキーの科学	古賀 邦正	5年前にサントリーの白州蒸留所でつい買ってしまったのですが、これがなかなか面白くて、誰かに話したくなるウイスキーの科学的なうんちくがいっぱい。研究がしたくなるかも。でも飲むのは二十歳を過ぎてから。	講談社	新書
地震は必ず予測できる	村井 俊治	GPSのデータを体系的に処理し、地震との関連を調べ、地震予測を実践している。ここ1、2年大きな成果をあげている。今地震学における注目の科学者。	集英社新書	新書
臨機応答・変問自在	森 博嗣	質問をする学生のみ（どんなくだらない質問でもOK）講義に出席したと認める工学博士の森先生と、なんとか先生の鼻を明かしてやりたい理系大学生の授業における質疑応答バトルです。学問は問い続けることであ	集英社	新書
「無」の思想	森 三樹三郎	学生時代、書道と思想との関係を追って論文を書いていた時に出会った本です。著者の言う、「言葉は月をさす指であり、月のあかりがわかれば、邪魔になる指は切りするがよい。」の意味を感じてみてください。	講談社	新書
翻訳夜話	村上 春樹 柴田 元幸	サリンジャーなどの翻訳でも知られる作家・村上春樹と、東大文学部教授（2014まで）で翻訳者でもある柴田元幸の翻訳をめぐる対談。小説家と研究者、それぞれの視点から、翻訳と文学に対する「愛」が語られています。外国文学や外国語に興味のある人はぜひ読んでみてください。	文春新書	新書
母という病	岡田 尊司	「高校生のみなさんに重ね合わせて読んでほしい」との思いで動いているものではありませんが、思春期の子育て真っ最中の私には考えさせる本でした。母子関係（特に母親）に関する書物が増えているので、読んでみるのもいいのでは。	ポプラ新書	新書
読書力	齋藤 孝	新書が苦手という人にもスラスラ読める一冊です。しかも、私にとっても皆さんにとっても安心の一言が書かれています。ぜひ、見つけてください。	岩波新書	新書
学校では教えてくれない！ 国語辞典の遊び方	サンキュータツオ	辞書にも様々な個性があります。学者で芸人のサンキュータツオが、辞書とのユニークなつき合い方や楽しみ方を教えてください。自分だけの一冊を選べる「辞書占い」もついているので、ぜひ、最適の辞書を見つけてください。	角川学芸出版	単行本
奇跡の教室	伊藤 氏貴	授業・読書のみならず、生き方について考えさせられる一冊。効率最優先の現代において、橋本武先生が取り組んだ「スローリーディング」はきっと何かに気づかせてくれるように思われる。	小学館	単行本
世に出ないことば	荒川 洋治	以前通勤途中の車内でよくMROラジオを聞いていました。「日本全国8時です」で特に火曜ゲストである著者の日が楽しみでした。彼は現代詩人で実は福井県出身なんです。詩は難しいですが、この本はエッセイを集めたもので一つひとつが短く読みやすいです。何より著者の「読書」や「ことば」への誠実な態度、感覚に近づきたいと思い何度か読み込みました。出版社も良心的な「みすず書房」です。信用できる人、本？です。	みすず書房	単行本
ランチのアッコちゃん	柚木 麻子	『食べることは生きること』忙しい時や疲れている時、元気が出なかつたりうまいかかないと感じる時に元気をもらえるような1冊です。続編「3時のアッコちゃん」もありますよ。	双葉社	単行本
子どもの自分くずしと自分づくり	竹内 常一	学校…とりわけ教室という空間には、集団のルールや競争原理（学力や消費文化的なもの）が見えないところで蔓延しています。その中で、学校適応不足に陥ったり、いじめに遭ったりする子どももいます。では、子どもたちは学校内でどのように社会・ルールをつくっていくべきなのか。実例をもとに、この課題の展望を明らかにしていきます。学校では何を学ぶ場なのか、深く考えてみたい方は是非読んでみてください。	東京大学出版会	単行本

日米地位協定入門	前泊 博盛	新安保条約と同時に結ばれた地位協定。沖縄だけでなく本土にも点在する基地やオスプレイ配備など日本がどれだけアメリカに屈辱的な条約を結ばさせられているのかを分かり易く解説した本です。日本国民としての誇りを持つ人は是非一読を。	創元社	単行本
世界のトップスクールが実践する考える力の磨き方	福原 正大	世界スタンダードの中で日本の大学がその地位を下げていと言われています。グローバル化の進展の中、みなさんが活躍する国際舞台で他の国々の大学は何を基準にヒトを育てているのかが書かれています。これからの日本の大学もそれを目指しています。興味があったら一読を勧めます。	大和書房	単行本
人生で必要なことは、すべて「ドラえもん」が教えてくれた。	横山 泰之	著者は富山大学名誉教授で自由科目講座としてドラえもん学を開講していました。これはアニメの研究というわけではなく、教師・コーチ向けとのバイブル的な意味合いが強く、のび太の成長をドラえもんが如何にコーチングしたかが分析されています。しかし、見方を変えれば、これからの世界を生き抜くために必要なことを紹介してくれる糧(わだち)となってくれるでしょう。	文庫ざんが堂	単行本
数学の証明のしかた	秋山 仁	私が昔愛読し、勉強したシリーズの復刻版で、正解へのプロセスを皆さんに探究してくれます。尊敬すべき母校の先輩です。	森北出版	単行本
怒り	吉田 修一	「悪人」がおもしろいと思った人は「怒り」もおもしろいと思うでしょう。これも映画化されるそうなので楽しみです。	中央公論新社	単行本
満願	米澤 穂信	6つの奇妙な事件について、それぞれのストーリーで表現されている物語です。読んでみて不思議な気持ちになりました。	新潮社	単行本
幸も不幸もないんですよ	小林 正観	昨年に引き続き小林正観著の本を選択しました。「掃除、笑い、感謝」これらはこの広い地球上で人にしかできないことです。人として生きることについて書かれた本です。	マキノ出版	単行本
十一月の扉	高楼 方子	中学3年の11月、15歳の誕生日に友人からもらった本です。新しい何かを始めたくなる、そんな気持ちにさせてくれる一冊です。	講談社	単行本
キュリー夫人	伊東 信	科学者のお手本となる内容である。	ポプラポケット文庫	単行本
MASTER KEATON	浦沢 直樹 勝鹿 北星 長崎 尚志	ユーリー・スコット先生も出てきます。何度も読みたくなります。	小学館	単行本
ライト、ついてますかー問題発見の人間学	G.M.ワインバーグ	文字通り問題発見に関する本ですが、堅苦しくない楽しく読める本です。「そうかっ」と思われる部分が随所にあります。でも、よくわからないところもあって、また読みたいと思う1冊です。	共立出版	単行本
利己的な遺伝子	リチャード・ドーキンス	初版が1976年の古い本であるが、今読んでも色あせない。「我々がなぜ、何のために存在しているのか？」といった哲学的な問いに対しての一つの答えを知ることができる。	紀伊國屋書店	単行本
覚悟の磨き方 超訳 吉田松陰	編訳 池田 貴将	後悔しない生き方とは何か？ 文武両道を目指す君たちに是非読んで欲しい1冊です。1ページ読み切りなので、とても読みやすいです。	ワナリ出版	単行本
車掌の本分	かんべむさし	「本分」ととても大切だと思います。みなさんは「本分」を理解していますか？このお話の中で、本当にいろいろと考えさせられます。この社会は、自分が常に何かに管理されていて、あらゆるところで妥協点を探し、我慢して生きていかなければならない構造になっています。しかし、あくまで自分の思いに忠実に、本分を尽くしたいと思うヒトは多いはずです。このお話に登場するサルは、まさにそのような我々の気持ちを代弁してくれていて悩ましいです。「本分」大切にしたいです。	光村図書	単行本
負けを生かす技術	為末 大	どう生きるか、どう考えるか、物事を測るモノサシの基準は、などアスリートとしての自分が考える価値観を伝えた本。	朝日新聞	単行本
土漠の花	月村 了衛	国と仲間を救うために、まさに、命賭けで戦い、生き延びていくその姿に勇気をもらいました。	幻冬舎	単行本
声に出して活かしたい論語	三戸岡 道夫	世界四大聖人の一人、孔子の「千古の名言」。日常生活で知っておきたい珠玉の論語70章	栄光出版	単行本
野球選手なら知っておきたい「からだ」のこと	土橋 恵秀	野球部員必読！無駄な動きを削る体の使い方(型練習)が掲載されています。筆者は、私と大学時代の同級生で、現在はメジャーリーグ「シカゴ・カブス」のトレーナー。本の中のモデルは小松高校の野球部員です。強くなってね！	大修館	単行本
察しない男説明しない女	五百田 達成	鈍感で察しが悪く理屈っぽく上下関係が大好きでなめられたくないのが男。よく気が回り感情的で記念日が好きで言わなくても分かってほしいのが女。男女の脳の違いについて「確かに！わかる～」と共感できることが多く、おもしろい作品です。	ディスカバートゥエンティワン	単行本
面倒だから、しょう	渡辺 和子	この本はどこからでも読み始めることができます。それは随筆です、読後感が爽快です。タイトルを眺めているだけで、どうしても思い読みたくなります。一例『生きていると生きていくは同じではない』面白いのは美しくなるにはお金が掛からない秘訣が・・・。是非一読。	幻冬舎	単行本
お父さんはウルトラマン	宮西 達也	子供が生まれてから、絵本を読む機会が増えました。うちの子供はウルトラマンの絵を楽しみ、私たち大人はその言葉に力が湧いてくる、そんな一冊です。『ウルトラマンだって 悩みながら闘っている ウルトラマンだって 失敗しながら闘っている』	学研	単行本
こころの声を聴く	河合 隼雄	大学時代英米文学を専攻し、卒論ではある作品を心理学的な考察をしながら分析しました。この本は心理学者河合隼雄さんと有名な作家たちとの対話集です。文学を心理学的視点から議論して私にとっては非常に面白い1冊です。文学と心の関係について知りたい人はぜひ1度手にとってみてください～	新潮文庫	単行本
Dear Mom ブルーディーブックシリーズ2	ブラッドリー・トレバー・グリーヴ	ブルーディーブックシリーズは、心あたたまる写真とキレイのある言葉(英語)で、一気に最後まで読ませてくれる作品です。今自分がここで生きていること、毎日ご飯が食べられること、そんなあたり前のことについて感謝を忘れてしまいがちな私たちに、はっと何かを気づかせてくれる。お母さんあての手紙スタイルの一冊です。	竹書房	単行本
ディズニーの英語 コレクション⑥	石原 真弓	昨年大ヒットしたアナと雪の女王の絵本です。やさしい英語で、とっても読みやすいですよ。ページ下には単語の意味、また物語で出てきた英文法や構文の解説もあり、楽しみながら、英語の勉強ができます。	KADOKAWA/中経出版	単行本
新 がんばりまっし 金沢ことば	加藤 和夫	NHK朝ドラ「まれ」、石川サンバ、石川弁がたったおもしろいげんて～。他県の大学に行く前に、自分たちの言葉をもう一度探ってみなけ？自分が使っていない言葉も、じいちゃんばあちゃんに聞いてみまっしね～。	北國新聞社	単行本

トリビュート×百人一首	幻戯 書房	松高生が入学前に暗記する百人一首、みなさん覚えてますか？ この本ではおなじみの和歌を現代語バージョンに、悲しい和歌もハッピーに！ 全く新しい世界を開いてくれます。「奇才異才大河なす秋 着飾ってデザインフェスタの闇へ繰り出す」…これはどの和歌の現代語バージョンでしょう？（答えは本の中に）	幻戯書房	単行本
ミラノ、朝のパールで	宮本 映子	ミラノ在住の日本人女性のエッセイ。住んでいるからこそわかる現地の人々の暮らしや、彼らの人生観がキラキラと描かれています。ミラノに行ったことのない人にも街の風景が見えてくるはず。海外での生活に興味がある人にはもちろん、ない人にもぜひ読んでほしい一冊です。	文藝春秋	単行本
ダイヤモンドより平和がほしい	後藤 健二	イスラム国に殺害された後藤健二さんがジャーナリストとして伝えたかったこと、後藤さんの優しさが詰まっている1冊です。	汐文社	単行本
ラットマン	道尾 秀介	何冊もミステリーを読んで、裏を読むことに慣れてしまった人でも、必ずその裏に行く、そんな本です。物語全体がだまし絵のような、不思議な感覚をぜひ味わってみてください。最後まで読んでから、何度もページを戻して確認したくなりますよ！	光文社文庫	単行本
モノあふれ社会に生きる日本人へ！「もったいない」の復活	坂田 龍一	何冊もミステリーを読んで、裏を読むことに慣れてしまった人でも、必ずその裏に行く、そんな本です。物語全体がだまし絵のような、不思議な感覚をぜひ味わってみてください。最後まで読んでから、何度もページを戻して確認したくなりますよ！	文芸社	単行本
母が重くてたまらない墓守娘の嘆き	信田 さよ子	最近本を読んでいないのですが、ちょっと気になったので購入した本です。私と母との関係を自分の中で整理できないかと思って読みました。本に書かれている事例は、極端な内容でしたが、何となく親娘の関係を確認できたかなと思います。女子のみなさん、お母さんとの関係に違和感を覚えたことはないですか？？？	春秋社	単行本
強運の持ち主	瀬尾 まいこ	煩わしい人間関係を嫌い、1人でできる「占い師」に転職した元会社員、ルイズ吉田。でも彼女の周りには「訳あり」の「濃いや人」ばかり。そんな人たちに振り回されながら、「直感だろうと占い本通りでもかまわない。当たる当たらないは問題じゃない。相手が納得する答えを出さないといいけない」をモットーに、ルイズ吉田は今日も忙しく過ごします。家族や恋人のありがたさを再認識できる一冊。	文藝春秋	単行本
魔女のスープ	阿川 佐和子	『聞く力』の著者の極上の食エッセイは疲れた時の心の栄養。失敗したっていい。それって料理に限ったことじゃないと思えてきます。荒井良二のお洒落な挿絵も素敵です。	マガジンハウス	単行本
感動する！数学	桜井 進	数学とは「発見」であり「芸術」であり「ドラマ」であり「宇宙」であり「夢」であるとする一冊。数学のロマンを感じることができます。	海竜社	単行本
人生はニャンとかなる	水野 敬也	心に幸福をまねく68の名言が、可愛いニャンコと共に載せられています。1時間で読めます！姉妹書に「人生はワンチャンス」という、これまた可愛い子犬が登場する本があります。	文響社	単行本
誰も書かなかった武豊 決断	島田 明宏	ティーフインバクトなど多くの名馬に騎乗し、数々の栄冠をつかみ取った天才ジョッキー武豊。落馬事故により成績が低迷していましたが、近年は再び大レースで勝利を積み重ねています。本だけでなく、競馬のTV中継も見たいです。彼の騎乗フォームは他の誰よりも美しい・・・。	徳間書店	単行本
逆転発想の勝利学	眞鍋 政義	近年の全日本女子バレー躍進の裏側に潜む、指導者眞鍋の独自の観点が盛りたくさん。バレーに限らず、スポーツ指導に関わる斬新な視点や、裏話などもあります。そんな考え方もあるんやー！と、思えるかもしれないよ！	実業之日本社	単行本
バッハの四兄弟	久保田 慶一	18世紀のヨーロッパでは「バッハ」と言えば次男エマヌエルであり、次いで末息子クリスティアンであった。ヨハン・ゼバスティアンは「息子たちの父」と呼ばれていた。それが逆転し、彼らが「バッハの息子たち」と呼ばれるようになったのは19世紀に入ってからのこと。本書では、兄弟とはいえ生きた時代や場所の異なる4人の、それぞれの人生、作品の特徴や、音楽史的に興味深いトピックスを描く。	音楽之友社	単行本
人間の建設	小林 秀雄 岡 潔	受験のとき、散々人を苦しめた「評論の神様」が、とても楽しそうに「数学の神様」と雑談しています。でも、神様の会話は深くて、厚さ7mmの文庫本なのになかなか終わりません。	新潮社	文庫
出口のない海	横山 秀夫	最近では、ドラマ「64」が話題のミステリー作家である横山秀夫氏が書いた戦争青春小説です。第二次大戦の終戦前に展開されていた極秘作戦「人間魚雷『回天』」。発射と同時にそれは死を約束されています。多くの若者たちがそれに乗船し、命を散らしていきます。切なくなりました。今年は戦後70年と言われています。興味があったら読んで下さい。自分も何年か前に書店さんに勧められ、一気に読みました。	講談社	文庫
異邦人	カミュ	何かもやもやと納得できないことが多かった我が青春時代。そんな時読んで、もやもやはこれだったんだあ〜と感銘を受けました。不条理な世の中を問うています。主人公の犯行動機「太陽がまぶしかったから。」にも衝撃を受けました。名作と呼ばれるものには名作たる理由があります。是非一読を。	新潮文庫	文庫
すべてがFになる	森 博嗣	昨年ドラマ化されたので知っている人も多いかも。犀川助教授とお嬢様学生西之園萌絵が活躍するミステリー。作者が元名古屋大学工学部助教授であることから作品にも理系的な雰囲気が出ています。Fってそういうことなのか！と最後にアッと言われます。	講談社文庫	文庫
へいわってすてきだね	詩：安里 有生 画：長谷川 義史	この本は、小学1年生の男の子が平和について書いたものです。日本の平和をとりまく環境が変わりつつある現在、子どものストレートな言葉が核心を突いている気がします。自分の子どもがもう少し大きくなったら読んであげたいですね。皆さんも読んでみてはいかがでしょうか。	ブロンズ新社	単行本
のぼうの城	和田 竜	天下統一をめざす豊臣秀吉の軍勢に攻められた忍城の攻防戦を描いた作品です。この作品に限らず、和田さんは非常にリアルに戦国時代の様子を描く点が魅力的です。映画の方もお勧めです。	小学館	文庫
紅茶を注文する方法	土屋賢二	気楽に読めるエッセイなので、勉強の合間にいかがでしょうか。どれもさっと読めて面白いのですが、実は案外深いかも。	文春文庫	文庫
特等派乗員αの難事件	松岡 圭祐	ラテラル・シンキング（水平思考）を駆使したトラブル解決は、スピーディーでおもしろかったです。万能鑑定士Qシリーズと読み比べても楽しいかも。	角川文庫	文庫
ゴールデンスランパー	伊坂 幸太郎	映画にもなった傑作ミステリー。国家ぐるみで首相暗殺の犯人に仕立て上げられそうになる主人公の逃亡劇。	新潮社	文庫
書店ガール	碧野 圭	たまにはかわいい本を…。経営不振の書店を立て直すために頑張る女性書店員の本で、書店の裏舞台が分かります。今春、ドラマ化してるんですね。	PHP文芸文庫	文庫
高校生のための「いのち」の授業	古田 晴彦	「いのち」に関する身近なテーマに対して、あなたはどうに考えますか？各テーマの問いに対して、自分で考えてから読み進めてください。	祥伝社黄金文庫	文庫

早雲の軍配者（上下）	富樫 倫太郎	「軍配者」シリーズの1作目です。この後「信玄の軍配者」「謙信の軍配者」へと続きます。まだ3作目は読んでいないので今後読んでみたいと思っています。史実と虚構をうまく織り交ぜている歴史小説は面白いですわ	中公文庫	文庫
流星ワゴン	重松 清	ドラマになっていましたが、きちんと見ることはできなかったので文庫本で読みました。過去や未来にこだわるとは、今を一生懸命、誠実に生きるしかないのだなあというのが感想です。	講談社	文庫
Switch「変わらない」を変える方法	チップ・ハース& ダソ・ハース	日々の生活において、私たちの中で「象（感情）」と「象使い（理性）」が戦っている。急げ者だけどエネルギーの源になる「象」。計画的なリーダーだけど、頭でっかちで空回りすることもある「象使い」。普段の自分を変えてみたい人には、「ヘエ〜っ!」と感じる1冊かも。	早川出版	文庫
Quiet	Susan Cain	「私が知る限り、（アメリカ人で）少なくとも3分の1の人が内向的な人間である。彼らは、話すことよりも聞くことを好む。彼らは、あらゆる場面で新境地を開き、ものすごいものを作り出すけど、自己顕示は嫌い。チームで仕事をするより、ひとりで仕事をするのが好き。」（以上引用、松原訳）彼女のTEDのスピーチはリスニングの練習に最適。	Broadway Books	洋書 訳本有
旅ボン イタリア編	ボンボヤージュ	ちびギャラリーのイラストレーターの本さんが初めて行った海外旅行を漫画形式でゆる〜く紹介している旅行記？イラストが丁寧で観光の参考には全くならないけど何となく、行った気になる本です。実際に行きたくなるかは…微妙ですが。	主婦と生活社	実用書